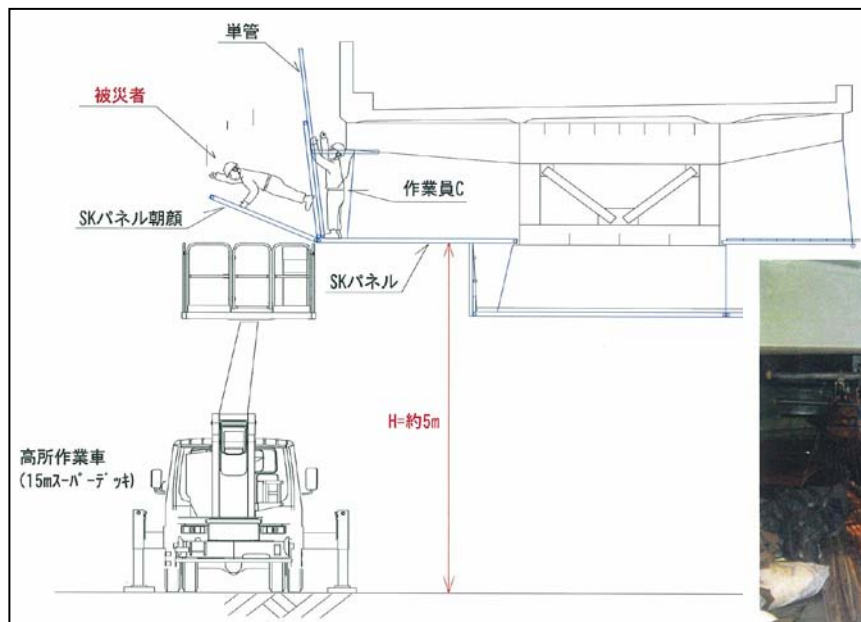


発生日時	平成 24 年 5 月 4 日 (金)				22 時 25 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	38	作業員	右手首骨折、右側人差指、中指脱臼又は骨折、右目眼球神経損傷の疑い			
事故概要	陸橋の足場解体作業中に足場上から、作業員が転落し、負傷したもの。						
	工事関係者事故－墜落						

事故発生状況



- ・ SKパネルを使用した朝顔の解体作業を行っていた。
- ・ 親綱は設置しておらず、チェーンに安全帯を掛けて作業を行っていたが、作業員は、高所作業車デッキ上へ撤去パネルを卸し、足場上の次のパネル位置へ移動した直後で一時的に安全帯を外していた。
- ・ 別の作業員が次に外すパネル上部の連結ジョイント固定用ボルトを緩め、脱落防止ピンを抜いたところ、ジョイントからパネルが外れ、車道側に倒れた。
- ・ 作業員はパネルが落下すると思い、右手を伸ばしパネルをつかんだが、パネルの重量 (21.4Kg) に耐えきれず、パネルは倒れ、作業員は車道路面に墜落した。

【事故発生原因】

- ・ 安全帯を使用していなかったため。
- ・ 親綱を設置していなかったため。
- など

【事故防止のポイント】

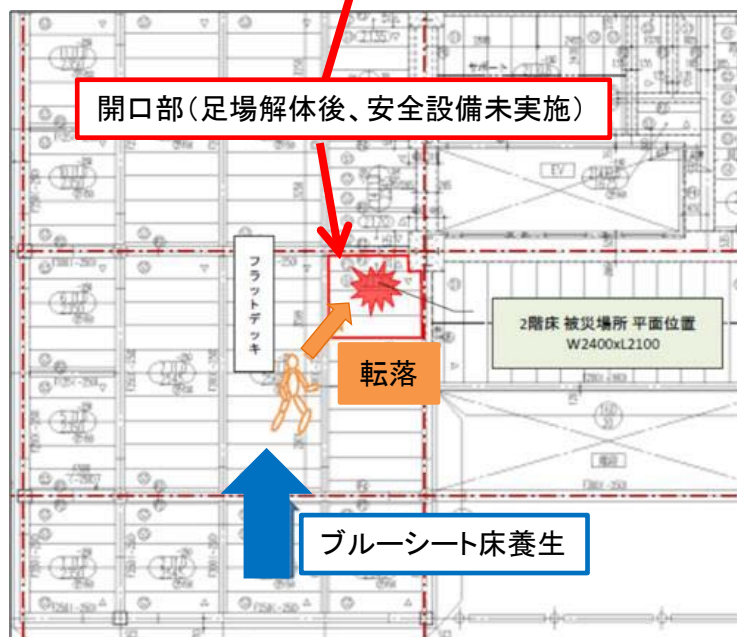
- ・ 安全帯使用の徹底。
- ・ 親綱の設置。
- など

発生日時	平成 24 年 7 月 12 日 (木) 13 時 50 分					天候	曇
工事情報	営繕系事務所 建築工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	31	とび工	鼻部切創、額切創			
事故概要	2階開口部付近でシート養生を取り付け中に、フラットデッキにつまづきバランスをくずし、1階床へ転落し、負傷したもの。						
	工事関係者事故一墜落						

事故発生状況



2階床開口部状況



2階平面状況

・ 2階において降雨対策等のためのブルーシート床養生を行っていた。

・ 足場解体直後で安全設備が設置されていない状態の開口部付近でつまづき、バランスをくずして1階床へ転落し負傷したもの。

・ 現場において作業手順を変更しており、開口部に先行設置を予定していた安全設備（ネット）が設置されていなかった。また、開口をフラットデッキにて塞いだ後にブルーシート床養生を行う予定が、塞がないままの作業となっていた。

・ 安全帯は使用していなかった。

【事故発生原因】

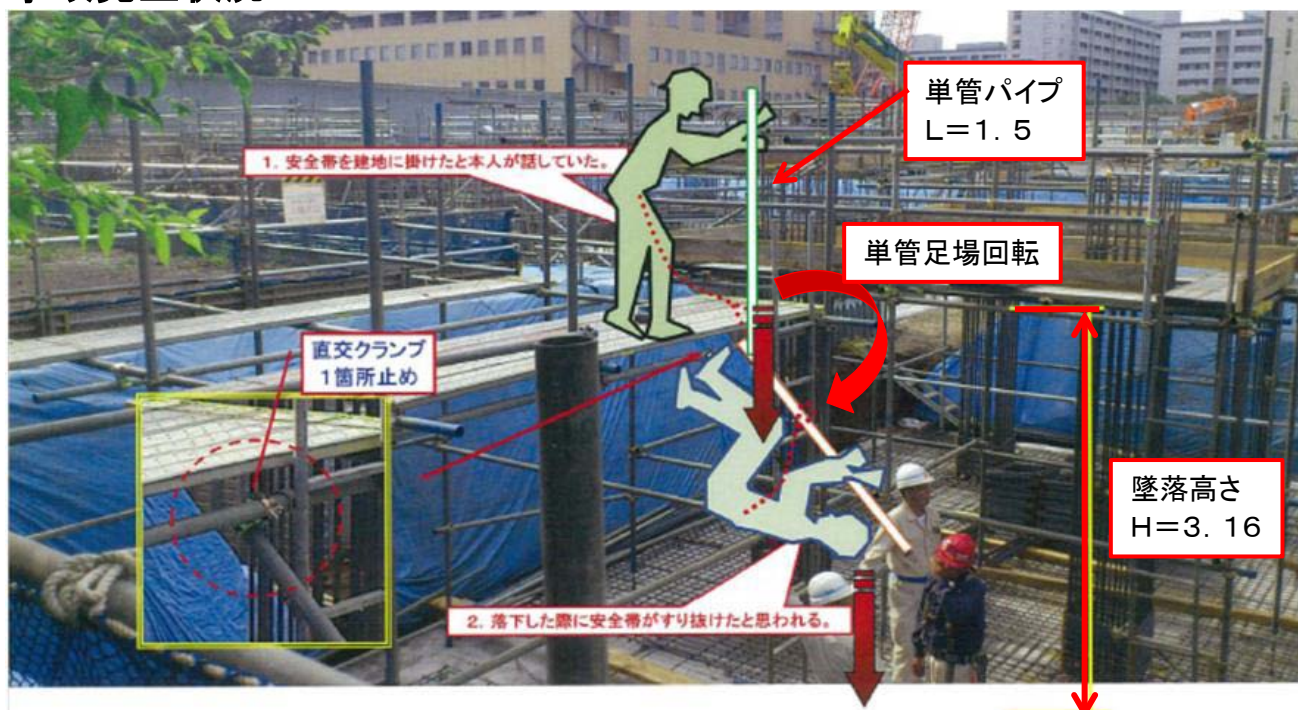
・現場において作業手順を変更し、転落防止措置が行われていなかったため。
など

【事故防止のポイント】

・決められた作業手順どおりに作業するよう作業員に周知・徹底する。
・転落防止の安全教育の徹底。
など

発生日時	平成 24 年 7 月 13 日 (金) 8 時 50 分				天候	晴
工事情報	営繕系事務所 建築工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	59	とび工	脳挫傷、肋骨骨折		
事故概要	鉄筋足場施工(足場盛り換え作業)中に、鉄筋足場から約3m程度落下し負傷したもの。					
	工事関係者事故－墜落					

事故発生状況



- ・当日に鉄筋工からの申し入れにより、予定外の鉄筋足場盛替鉄筋足場の盛り換え作業を実施。作業は口答による指示となっていた。(作業手順書未作成)
- ・事故発生時は、手すり及び幅木の解体を実施。安全帯を単管足場の縦地に掛けていたため、手すりを解体したことにより安全帯を掛けていた単管足場が回転する不安定な状態であった。
- ・何らかの原因で3.16m下に転落、安全帯を掛けていた単管足場が回転したため、安全帯が有効に機能しなかった。

【事故発生原因】

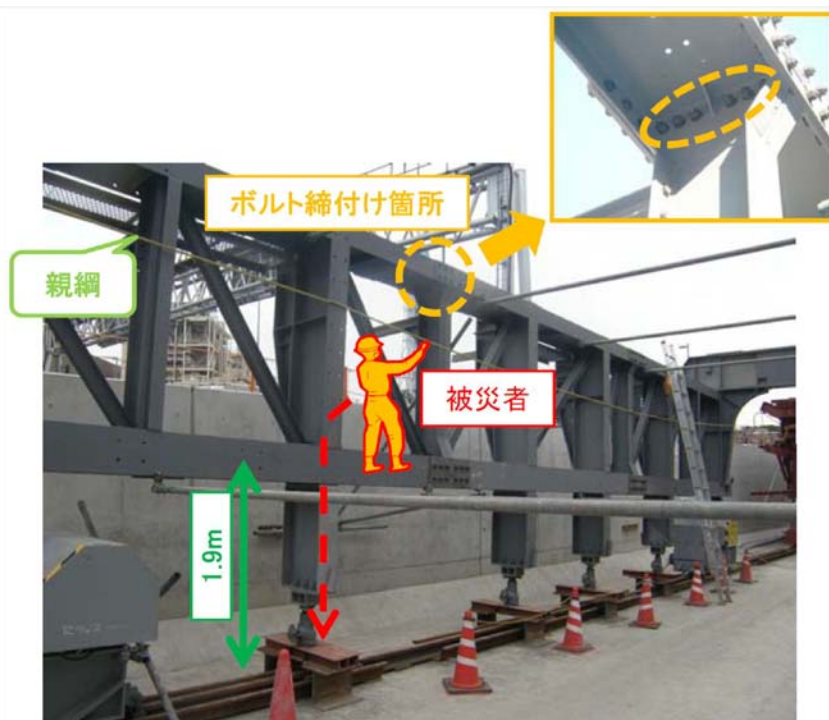
- ・安全帯が適切に使用されていなかったため。
- ・作業手順書が作成されておらず、墜落に対する注意喚起が不十分だった。

【事故防止のポイント】

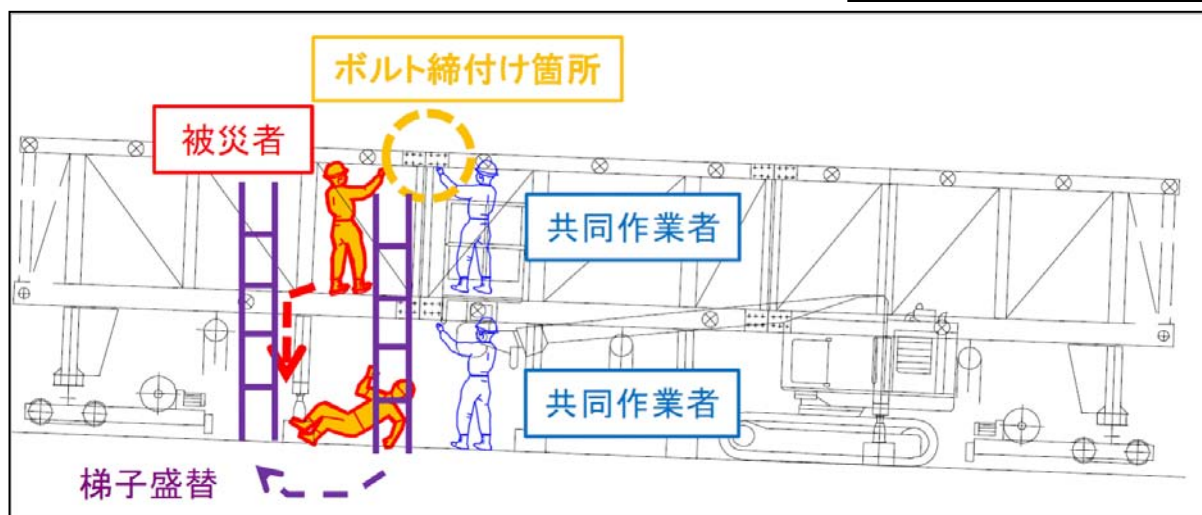
- ・転落防止の安全教育の徹底。
 - ・墜落に対する注意喚起を含めた作業手順書を作成し、作業員に周知・徹底する。
- など

発生日時	平成 24 年 12 月 27 日 (木) 21 時 5 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	45	土工	右手第1指中指骨折		
事故概要	セントル用ガントリーを組立において、梁の上のボルトを締める作業中に、作業員が約2mの高さから落下し、負傷したもの。 工事関係者事故－墜落					

事故発生状況



- ・トンネル掘割部において、セントル用ガントリー組立を実施。
- ・組立中、梁の上でウェブ内のボルトを締めていたところ、メガネレンチがボルトから外れ反動で落下したものの。
- ・親綱が設置されており、安全帯を使用して作業を行うこととなっていたが、作業の支障となった梯子移動時に、一旦、安全帯を外した事を失念し、作業を行っており、落下時は安全帯を使用していなかったもの。



【事故発生原因】

- ・安全帯を使用していなかったため。
など

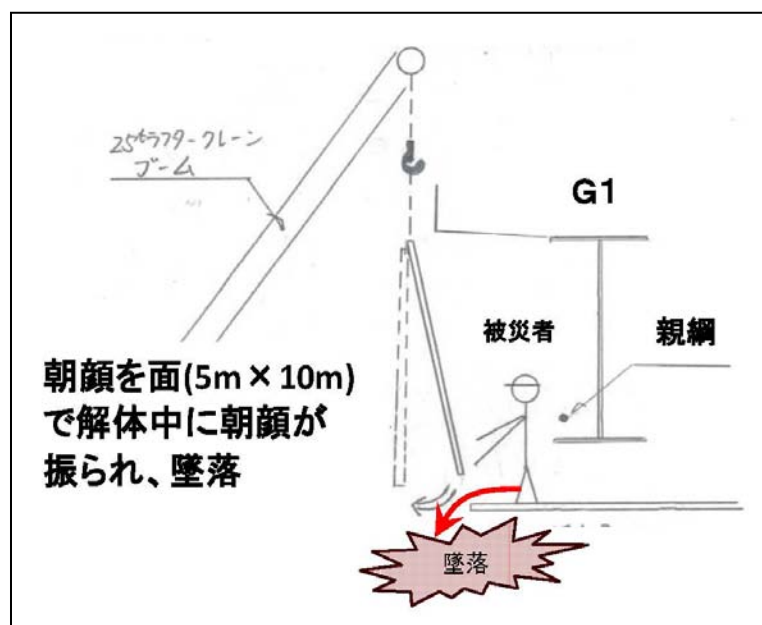
【事故防止のポイント】

- ・安全帯を使用するよう作業員に周知・徹底する。 など

別紙

発生日時	平成 25 年 2 月 4 日 (月) 11 時 50 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	43	鳶工	右鎖骨骨幹部骨折、右上腕骨骨幹部骨折、右肺挫傷、右血胸、右第10,11肋骨骨折、骨盤骨折		
事故概要	朝顔解体作業中に、約5m下の地面へ落下し負傷したもの。					
	工事関係者事故－墜落					

事故発生状況



- ・吊足場上で、朝顔を25tonクレーンを用い、面(高さ5m×長さ10m,約500kg)で解体作業を実施。
- ・作業員3人で建地最下部のクランプを外している際、被災者以外のクランプは外れたが、当人の箇所のカンパが効いていて外れなかった。引き続き作業を続けたところカンパが外れ、その反動で朝顔パネルの下端が外側に振れ、被災者が押さえようとして、5.3mの高さから墜落したもの。
- ・作業箇所に親綱は設置されており、2丁掛けの安全帯を着用していたが、被災時はフックを親綱にかけていなかった。

【事故発生原因】

- ・安全帯を使用していなかったため。など

【事故防止のポイント】

- ・安全帯を使用するよう作業員に周知・徹底する。など